

戸田市児童福祉審議会議事録

会議の名称	令和元年度第2回戸田市児童福祉審議会
開催日時	令和元年7月17日(水) 午後2時～午後3時30分
開催場所	戸田市立教育センター2階 第1・第2会議室
会長等氏名	会長 中村 信成 副会長 永塚 博之
出席者氏名 (委員)	石井 剛 永塚 博之 中村 信成 日山 秀利 中野 康子 岩元 貴博 澁川 悦子 榎本 潤一 皆上 千里 手島 真由
欠席者氏名 (委員)	武内 利行 吉川 博文 田所 雅人 山口 百百
事務局	松山部長 梶山参事 石橋課長 太田課長 中沢課長 岩崎課長 大原主幹 御嶽主幹 馬場主幹 渡邊副主幹 岡部副主幹 金子主事 高畑主事
議 題	(1) 第一期戸田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について (2) 第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画の骨子案について (3) 第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画の「量の見込み」及び「提供体制の確保」について (4) その他
会議結果	1 議題1 原案、承認 2 議題2 原案、承認 3 議題3 原案、承認 4 議題4 原案、承認
会議経過	別添のとおり
会議資料	令和元年度第2回戸田市児童福祉審議会会議次第 1 第一期戸田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 2 第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画骨子案 3-1 第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画における量の見込み 3-2 第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画における確保方策
議事録確定	令和元年9月20日 会長 中村 信成

発言者	発言・議題内容・決定事項
事務局	【 開会 】
会長	～会長あいさつ～
事務局	<p>【 資料及び出席委員の確認 】</p> <p>本日出席されている委員は 10 名であり、全委員の過半数を超えておりますので、戸田市児童福祉審議会条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議は成立していることをご報告いたします。</p>
会長	<p>【 議事 】</p> <p>それでは、次に、議事に進みたいと思います。</p> <p>条例第 4 条の規定により、会長は、会務を総理するとありますので、ここからの議事進行を会長にお願いしたいと思います。</p> <p>なお、本日、傍聴人の方が 1 名来ております。</p>
事務局	<p>【 議事 】</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます会長の中村です。よろしくお願いたします。</p> <p>では、傍聴人が来られているとのことで、傍聴を許可することといたします。</p>
事務局	<傍聴人を案内>
会長	では、議題（1）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	それでは、議題（1）第一期戸田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について説明します（資料をもとに説明）。
会長	事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。
委員	<p>まず、5 ページ目の下から 2 つ目「認定こども園化を支援し、高まる保育需要の緩和を図ります」について、ここの進捗状況や見通しについて教えてください。</p> <p>2 点目ですが、6 ページ目、地域子ども・子育て支援事業の整備の利用者支援事業は、事業の内容を見ると、「保育園、幼稚園、認定こども</p>

	<p>も園等の施設の情報を集約し」と書いてあります。保護者の方からの相談としては、今年度から始めている保育幼稚園室の保育コンシェルジュがありますが、こちらとの連携はどういう形でされていますか。また、利用状況はどうなっていますか。</p> <p>3点目ですが、12ページ目のファミリー・サポート・センター事業について、私もファミリー・サポート・センターで協力会員をしていますが、協力会員の数が足りないということをよく言われます。依頼会員さんのほうが増えてしまっているということですが、検討をお願いします。</p> <p>子育て支援員の活動先が今足りないということで、こういう方のファミリー・サポート・センターの協力会員としての活動のチャンスはないのでしょうか。そういう形ができれば、協力会員の増加と支援員の活動の場の広がりが期待できるのではないかと思います。</p> <p>4点目ですが、14ページ目の一時預かり事業について、利用者の立場から、戸田公園駅前子育て広場一時預かりの利用者がどうして確保提供量を大きく下回るのかと考えました。</p> <p>自分も子供を預けてみて分かったことで、駅前の一時預かりはとても狭いです。そして、1時間当たり500円の利用料がかかります。そういったところも利用量が増えない一因だと考えました。</p> <p>この辺について改善ができるのかどうかをお伺いしたいと思います。この4点についてお願いします。</p> <p>それでは、1点目の5ページの「認定こども園化を支援し、高まる保育需要の緩和を図ります」の進捗状況や見通しについて、担当課からお願いします。</p> <p>事務局</p> <p>5ページの認定こども園の促進、保育需要の関係ではありますが、認定こども園は、幼稚園の機能と保育園の機能を合わせた施設ということで、パターンは幾つかありますが、現在、市内には認定こども園はございません。今後、その辺がどのような需要があるのか、あるいは既存の保育施設、あと幼稚園が市内に10園ございますが、認定こども園になるにあたって要件、また設備や費用面、運営の方針など国で定められたものがございます。</p> <p>制度自体ができてからまだ年数も経ていないということもございますが、戸田ではどういったものが認定こども園として必要なのかどうか、また、今後は保育園だけではなく、やはり認定こども園も必要になってくるという認識ではありますが、現段階では具体的に進んでいる状況ではありません。認定こども園の制度も踏まえて考えていきたいと思っております。</p>
--	---

会長	次に、6ページの利用者支援事業の保育コンシェルジュの関係機関との連絡調整について、担当課をお願いします。
事務局	<p>保育コンシェルジュの利用状況につきましては、窓口に来られた方や保育従事者の方の相談、及び日曜窓口開設日にも相談を受けている状況ですが、4～6月までで約450件の相談がございました。</p> <p>内容によってはこども家庭課と連絡・連携をとることや、保育園に伺うなどの対応をしています。</p>
会長	次に、12ページのファミリー・サポート・センター事業の子育て支援事業の支援について、お願いします。
事務局	<p>ご指摘のとおり、担当課といたしましても協力会員の方がなかなか増えていかないのは悩みの一つでございます。</p> <p>昨年度、第四期の子育て支援員の養成講座修了式の際に、ファミリー・サポート・センターの担当の方においでいただきまして、ファミリー・サポート・センターの入会のご案内を実施いたしました。中にはそのまま入会手続きをとられた方もおられたと聞いております。今年度も講座を実施予定でございますので、案内を行いたいと考えております。</p> <p>続きまして、4点目の戸田公園駅前子育て広場の一時預かりにつきましては、あくまで地域子育て支援拠点における一時預かりの補完という形の性質で考えております。それぞれの拠点施設の意味合いや、性質の違いがございますので、それぞれの施設の良いところを活用していただければと考えております。</p>
会長	他にご質問はありますか。
委員	<p>3点お願いします。</p> <p>まず、13ページの一時預かり事業です。実績の29年度から30年度にかけて7,000件以上の急激な伸びがありますが、ここは何か戸田市として工夫なされた点などがあるのでしょうか。</p> <p>2点目ですが、16ページの病児・病後児保育事業は、確保方策の考え方が利用実績から量の見込みを算出とありますが、結構ここは確保量と利用量の乖離があり、文言と合っていません。目指す方向性が伺えれば利用のしやすさとのギャップなどの解消になるのかと思いますので、聞かせていただければと思います。</p> <p>3点目に関しては、意見のような感じになりますが、24ページのNo.34に特別支援学級及び通級指導教室の施設・設備の増設の説明がありますが、これに対して私はすごく良いと思いました。</p>

	<p>No. 36 の特別支援学級等の教職員研修をしっかりと確保されている点も非常に良いと思います。教室の増設を教育総務課で行い、教育政策室で教員の研修を行っている、この点に関しては、箱だけを作るのではなく、質的な確保をしていただいているこの戸田市の取り組みというのは、継続していただきたいです。</p> <p>やはり特別な支援が必要なお子さんたちというのは、保健所の子供の心の健康相談を担当していてもすごく感じる場所なので、箱ではなく、質的なものをしっかり組織としてやっていく。この姿勢はぜひ継続してほしいと思います。</p> <p>1点目のご質問、13 ページの一時預かり事業でございますが、こちらは、幼稚園の在園児対象の預かり保育ということで、通常の幼稚園の教育時間が終わった後の保育を必要とする方の預かり保育事業でございます。実際に預かり保育を実施している園、あるいは実施する園が増えたことにより、利用者が増えている状況でございます。</p>
事務局	
会長	実施している園はわかりますか。
事務局	手元に資料がなく、実施園はわかりません。申し訳ございません。
会長	16 ページの病児・病後児保育事業の利用実績や量の見込みの算出について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>確かにご指摘のとおり、実績から申しますと、数字がかなり乖離しておりますので、方策の考え方の表記の仕方について、修正を加える可能性があることだけをお答えさせていただきたいと存じます。</p> <p>24 ページの特別支援学級について、作るものと質が両方しっかりできているというお褒めの言葉を頂戴いたしましたので、意見につきましては教育委員会へ私のほうから伝えさせていただきたいと存じます。</p>
会長	他にご質問はありますか。
委員	<p>認定こども園が戸田市内にできる見込みが立つのであれば、それはそれで結構なことだと思います。</p> <p>ただ、見込みが立たない中で例えば、認定こども園にこだわるのではなく、幼稚園に入園した園児さんが保護者の就労によって保育の必要性が発生したときに、送迎サービスがあつて、幼稚園の後に保育園</p>

	<p>を利用できるような仕組みが成立するのであれば、幼稚園に子供を通わせる保護者の就労にあたっては、余力のある保育所が、送迎サービスを付け、幼稚園との同時並行での利用ができる道を模索するのも一つの手かと思います。</p>
事務局	<p>保護者の就労の形態、ご意見がございました新設保育園の空き状況等や、保護者の状況を適宜把握しながら、またご意見を伺いながら考えていきたいと思っております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
副会長	<p>保育園の待機児童は、保育園が増えてだんだん待機児童の数が減ってきていますが、この資料を見ると、学童は人数が足りているという話にもかかわらず、学童に入れなかったという話も聞くので、戸田市全体だと空いているのでしょうか。あるのであれば、そこに対してどういう方向性を持っているのか教えていただけますか。</p>
事務局	<p>先ほどのご説明の中で確保量と実績というところで、相対的に見れば確保量のほうが上回っている形にはなっていますが、副会長がご指摘のとおり、一部公立の学童保育室では、今年度の初めも待機児童が発生している学校が3校ほどあります。</p> <p>学童保育の需要に関しては、各学校の児童数や、新1年生の状況により、年度ごとに変わる場所がありますが、その状況を予測しながら、また実績を見ながら需要の高いところについては、現状では、民間学童保育室をその学校付近に誘致するという形をとりまして、待機児童の解消に努めているところでございます。</p> <p>学童保育施設については、保育園と違って、夏休み以降は入室児童が減ってきて待機児童が解消する場所もありますが、やはり皆さん年度の初めに預けたいのに預けられないということもあり、その対策については、今のところでは民間学童の誘致を中心に考えております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>児童相談所でお子さまを一時保護などでお預かりすることが多く、虐待以外でも、お母さんの出産のときの、家庭で養育できない場合の預かりなども中にはあるのですが、期間も短いですし、できれば市民相談の中でショートステイなどを利用して対応できたらありがたいです。実際のところ、確保量 252 という数値はどのように算出されているのでしょうか。</p>

	<p>また、どのような理由で使われているのか見えてこないものですから、教えていただいて、今後一日当たりの確保量を増やしていくことができるのかについてお願いします。</p>
事務局	<p>ショートステイ事業の確保提供量についてですが、実施契約施設は乳児院2箇所、母子生活支援施設1箇所の計3箇所でございます。利用につきましては、7日間の12か月の3施設ということで252という計算で考えております。</p>
委員	<p>実際にどのように利用されているというのがありますか。出産などと1週間程度ですが、そういった例が幾つかありますか。ショートステイで間に合ったケースです。</p>
事務局	<p>ショートステイを利用されたり、産前産後支援ヘルプサービス事業というヘルパー派遣のサービスなどもございますので、そういった幾つかのサービスを、複合的に、幾つか使いながら出産に伴う入院にかかる期間を過ごしていただくなど、いろいろとご相談しながら対応しております。</p>
委員	<p>取りあえず間に合っているということですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>他にご意見、ご質問はありますか。なければ次の議題に移らせていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、議題（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題（2）第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画骨子案について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。なければ次の議題に移らせていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、議題（3）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題（3）第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画の「量の見込み」及び「提供体制の確保」について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。</p>

委員	<p>先ほど進捗状況のところでは、現状は3号認定の0歳児、1歳・2歳児は確保数が足りていないということでした。それが将来の推計では間に合うということになってはいますが、やはり確保はできないのではないかと思ったのですけれども、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>3号認定0歳児及び1・2歳児につきましては、先ほどご質問がございましたように、確かに実績で足りない状況が続いておりましたが、ここ数年、受け入れ枠の拡大ということで新設の保育園を開設したことによりまして、0歳児及び1・2歳児の受け入れ枠を拡大しております。児童数の推移等もごさいますが、そういったことも勘案しますと今後も確保・提供ができるという見込みで量の算出をしております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>量の見込みの資料8ページです。一時預かり事業（幼稚園型）の量の見込みの算出に少し違和感があります。</p> <p>というのは、本来、利用する必要性が低いと考えられる2号認定や3号認定の利用規模はそのまま反映されているという見通しとのことでしたが、子供を保育園に通わせていたとして、一時預かりを利用したいと回答するかと考えたときに、回答する人もいるだろうけれども、そこを要因として大きく数が上回るということはないのではないかと。</p> <p>むしろ、一時預かりに関しては、預けたい日に枠がいっぱいで預けることができなかったという数を把握していないと思われませんが、その利用を希望したものの利用できなかったため、実績としては計上されていない数が、かなり存在していると思います。</p> <p>その差があることを認識として持たないと量の確保の見通しとして違ってくると思います。保育園に預けているから利用したいと答えたいけれども、実際に預ける必要がないのでということではなくて、預けたいのに預けられなかったということだと思います。</p> <p>私は、幼稚園の夏休みや冬休みに一時預かりに預けていても、その頃は、預けたい月の申し込み開始の日に朝7時半過ぎぐらいから子供を連れて並んでいました。</p> <p>だから、申し込みに来たけれども預けられなかった数まで考慮しないと提供量の適切な見通しは立てられないと思います。</p>
事務局	<p>一時保育利用につきましては、受け入れの要件、あるいは定員が10名前後の園が多いことと、利用できる時間や日数等から、ご利用したい時に必ず利用ができるかという問題は確かに従来からごさいます。</p> <p>今は申し込み・受付につきましても、基本的には希望日の属する月の前月5日ぐらいから希望を受け付けておりまして、当然当日急に利</p>

<p>会長</p>	<p>用したい場合でも空きがあればご利用いただける状況でございます。 現在、従来より少しずつ一時保育の利用ができる園は増えている状況でございます。 また、増えた中でもニーズや保護者の利用の形態は様々ですので、そういったものを踏まえてより使いやすいものにしたいと思っております。</p> <p>他にご質問はありますか。</p>
<p>副会長</p>	<p>最初は足りないという話だったのですが、量の見込みでは、1歳・2歳児以外の量は足りるということになっています。そうすると、「定員割れ」の心配があっても、今後、保育園は整備を進めるのでしょうか。</p> <p>保育園の数の問題があるのではないかと思うのですが、あくまでも量の見込みなので実際にどうなるかは分かりませんが、この数字を見ると定員が埋まらなくなる保育園が出てくるのではないのでしょうか。方針や準備はできているのか教えていただけますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>保育園の待機児童が非常に多いということで、ここ数年はアクションプランをもとに計画を立てて進めてまいりました。ただ、プランも終わりました、現状、今年度については各保育園で特に低年齢児の空きが見られているところもございます。</p> <p>また、今後の戸田市の就学前の子供の人数なども勘案しまして、今後新たに保育園が必要なのか、あるいは保育園の必要がない場合でも既存の保育施設の受け入れ定員はそのままでもいいのか、と考えていかななくてはならないという認識もございます。</p> <p>ですから、少子化という中で戸田市の就学前の人口がどのようなことになるのか、量の確保等、そういった推移も十分見ながら保育施設についての今後の計画を考えていかななくてはならない時期にきていると思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>令和2年や3年には新しい保育園ができる予定はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今のところ1園ですが、60名の定員で令和2年4月開園予定の計画を立てているものがございます。ただ、それ以降につきましてはどういう形になるのかまだ決まっておりません。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>南部保健所です。保健所なので他の地域を回ってきた人間からする</p>

	<p>と、先ほどの戸田公園駅前子育て広場の一時預かりが1時間 500 円で使えるというのは、場所の確保という意味でも駅前で、1時間単位で、しかも 500 円で使えるのは、正直に言って、非常に頑張っていると思います。</p> <p>住民からすると使いにくさはあると思いますし、利用者側に立つと本当に求めるものが高くなってしましますが、でも戸田市としてはすごく努力はされていると思います。</p> <p>慢性疾患を持って生まれたお子さんが保育園に入園したのですが、さいたま市に引っ越すことになり、「さいたま市に行ってみてはじめて、戸田市の保育の真剣さが分かった」と言っていました。障害を持った子どもの保育のあり方を1人の子のために考えてくれて、他の自治体に行ってみたら、受け入れは非常に難しいという現実直面しています。</p> <p>そういう1つの事例からできたことを拡大していただきたいと思いますので、戸田市のいいところが子ども・子育て支援事業計画の中で見えてこない部分もあるということをお伝えさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>今度、戸田市で小・中学校が一体化するということですが、その場合に学童の定員数を増やすことができるのかどうか、その辺の計画はどうなっているのかを教えてくださいませんか。</p>
事務局	<p>その点に関しましては、会議資料3-2確保方策の1ページの中段に少し詳細を載せております。</p> <p>公立の学童保育室は、学校の構内にあるというところからなかなか定員を増やせない状況にありまして、東小・中一貫の建て替えなど、そういった場合でないとなかなか拡張ができないというところでございます。</p> <p>ご質問につきましては、まだ正式に詳細が決まっていない状況ですが、戸田東小学校学童保育室の定員を、37人増やす予定で考えております。</p> <p>また、令和2年度につきましては、美谷本小学校が学童保育室を新築しますので、そこでも一応10人程度の増を考えております。それと同時に、必要な場所に民間学童の誘致を進めていきたいと考えております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>

委員	<p>先ほど保育所の整備の件でお話がありましたが、今年の4月の時点で確か40名ぐらいの待機児童だったと記憶しているのですが、それは全て1歳児だったと思います。</p> <p>それで、またさらに保育所を建てた場合に、1歳児の解消はごく少数で、一方0歳児、2歳児、それ以上の定員はどんどん空いていくのに、まだ整備していくのかとすごく不安に感じます。</p> <p>他の方策、例えば私たち小規模保育では、ワンフロアでやっているので仕切りがないですから、年齢ごとの定員を弾力化してもらって1・2歳児の枠として、2歳児の空きのところで1歳児、0歳児の空いているところに1歳児を受け入れることで解消していけるのではないかと考えています。これだけどんどん施設をつくって行って、結局広げた風呂敷をどうやって畳むか、5年後・10年後のビジョンが全く示されていない中で整備だけが進んでいくところにすごく不安を感じていますが、どういう考え方なのか聞かせていただければと思います。</p>
事務局	<p>確かに整備を中心にとということでの受け入れ枠、また待機児童を増やさないという形で方針を進めてきたところでございます。</p> <p>ただ、今年度は確かに、特に低年齢児で空きがある状況となっています。今後につきましては、施設整備ありきという方針は変えていかなくてはならないという認識はございます。</p> <p>もう一つの今ある施設の受け入れ枠。いわゆる定員をどのような形にしていくか、今ご意見がございました定員の弾力化というものがあるのか、今の法制度あるいは支援制度の中でできるのか、こちらでも十分考えていかなくてはならないという認識を持っておりますので、来年度に1園つくるとは決まっておりますが、当面については、新しく園をつくるという計画はございませんので、保育施設の皆さまと十分話し合いをしながら今後の戸田市の保育施設のあり方を十分考えていかなくてはならないと考えております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>先ほどの話に関連することですが、農業で言うと減反というような感じで、市と民間の事業者との間での調整がちょっと心配な気がいたします。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
副会長	<p>質問ではないですけれども、私も仕事柄いろんな立場の方と話しをする機会があります。戸田市はいろんな事業を行政がやってくれてい</p>

<p>会長</p>	<p>ると、こういうものがうちの市はないということをたくさん聞きます。 ですから、保育園の量の見込みはさておいて、戸田市は立派な事業をいろいろ展開していただいているので、私は、これからもこれを継続していただいて、新しい事業をまたつくっていただきたいなと思います。</p> <p>他にご質問はありますか。よろしいでしょうか。 それでは、(3) 審議は終了したいと思います。 では、議題(4) その他について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、議題(4) その他について説明します。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。 よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>他に無いようなので、議事を終了します。 それでは、進行を事務局に返します。</p>
<p>事務局</p>	<p>【 閉会 】</p>
<p>副会長</p>	<p>～副会長あいさつ～</p>
<p>事務局</p>	<p>会議録につきましては、市ホームページにて公開させていただきます。 以上をもちまして、令和元年度第2回戸田市児童福祉審議会を終了いたします。</p>

以上